

### 第 3 回国立大学法人信州大学経営協議会議事要録

日 時 平成16年 9 月 7 日(火) 15時05分～16時05分  
場 所 工学部若里総合研究棟大会議室  
出席者 小宮山学長，藤沢，渡邊，野村，竹本 各理事，勝山副学長  
内田，大和田，坂本，茅野 各委員  
梶谷，堀井 各監事  
欠席者 白井理事，大崎，鹽野，安川 各委員

#### 前回議事要録確認

議長から，第2回議事要録について諮り，確認された。

#### 議 題

##### 1 信州大学医学部附属病院の中期事業計画について

勝山副学長及び渡辺経営企画監から，中期事業計画の内容，中期計画中のプロジェクト及び事務機能充実のための方策について資料No. 1 - 1 及び1 - 2 に基づき説明があった後，議長から，このことについて諮り，委員から次のとおり意見があった。

#### (発言要旨)

資料No. 1 - 2 に記載の実情は，私共の常識ではあり得ないことである。病院の業務は，はっきりと分かれている。また，病院長を中心としたシステムができています。主任から部長までの階層は必要なのか，すっきりした方がよい。職務と能力に応じて支払うものは払うという原則を是非考えていただきたい。

提案された方向については，意欲的なプロジェクトがあり結構なことだと思われる。事務機能充実のための方策についても，基本的な方向としては間違っていないと思う。ただ，キャッシュフローではなく損益として見た場合どうなっているのか，本題は，収入の目標が達成されているかどうかではなく，利益の目標が達成されているかどうかということである。また，目的積立金の使途は合理的なものでなければならないので，このことについてもうまく説明する必要があるのではないか。

病院の収益は病院のみに投資するのか，大学全体に投資するのかといった投資方法についても検討が必要と思われる。

診療単価及び稼働率を上げるということは，どれだけの主体性があるのか。また，資産総額についてお聞かせ願いたい。

セグメント毎の会計をきちり行うことが第一である。コストの管理を行い，認識の上で実行することが大切である。

センター構想はよいことであるが，知名度を上げるためのPRがない。グローバルな立場に立った，或いは地域に対する貢献が必要である。また，医師養成機関としての使命を果たすことも大切なことである。

損益計算書，余剰金の使途等，審議中に回答することができなかった事項については，今後の経営協議会に提示することとし，指摘のあった事項，意見を踏まえ，引き続き本件の検討を行うこととなった。

以 上